

A 数字を比べる前に

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○

本文のページを横に並べると読みやすくなります。字数指定では句読点・かぎカッコも1字と数えます。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① ある二つの図書室では、本を借りた人が先週より増えた。どちらの工夫が効果的だったのだろう。人数の増え方だけを見て、すぐに答えを出してよいだろうか。
- ② A図書室は、本の表紙を見せる展示を始め、同時に開室する日を三日から五日に増やした。B図書室は、本を紹介する短いカードを置いたが、開室する日数は変えなかった。Aの利用者がより多く増えても、展示だけの効果だとは言えない。
- ③ 開室日が多ければ、借りる機会も増えるからである。また、もともと通う人の数が違う場合は、増えた人数だけを比べても公平ではない。このように、結果に影響する条件がそろっていないと、何が変化の原因なのか判断しにくい。
- ④ そこで、展示の効果を調べるなら、同じ図書室で、開室する日数をそろえ、展示の前後を比べる方法が考えられる。ほかの条件もできるだけそろえる。完全にそろわなければ、違う条件を記録し、結果を説明するときに添える。
- ⑤ 数字を比べるときに大切なのは、差の大きさだけに注目しないことである。どのような条件で得た数字かを確かめてこそ、その差が何を意味するのかを考えられる。

問1 ①段落の役割として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 展示の効果が高いことを結論付ける。 イ 身近な場面から、考える問いを示す。
ウ 条件をそろえるための方法を説明する。 エ 図書室の展示をやめるように求める。

問2 ②段落で、A図書室は展示以外に何を変えましたか。本文中からその変化を表す一続きの言葉を抜き出しなさい。（17字）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

17

問3 ③段落の「このように」が受ける内容として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア どちらにも同じ人数が通っていること。 イ 展示とカードの効果が必ず同じこと。
ウ 開室日数や、通う人の数が違うこと。 エ 違う条件を説明に必ず添えること。

A 数字を比べる前に

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題1ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問4 ④段落の「そこで」は、前の内容とどのようにつながりますか。一つ選びなさい。

ア 前の段落の問題を受けて、対処する方法を示す。

イ 前の段落とは無関係な話題に切り替える。

ウ 前の段落の説明が誤りであると打ち消す。

エ 前の段落と同じ例を、そのまま繰り返す。

問5 次のまとまりに当たる段落の番号を、それぞれ書きなさい。

(a) 具体例と、その結果を単純に比べられない理由

(b) 文章全体を通して筆者が伝えたい考え

(a)	(b)

問6 A図書室の利用者がより多く増えても、展示だけの効果だとは言えないのはなぜですか。

③段落を参考に、二十五字以上四十字以内で書きなさい。

[illegible]

問7 本文の考えに最も合う調べ方を一つ選びなさい。

ア 利用者が最も多かった一日だけを選んで比べる。

イ 通う人の数が違ってても、増えた人数だけで決める。

ウ 展示前は一日、展示後は一週間の人数を比べる。

エ 同じ図書室で日数をそろえ、ほかの条件も記録する。

問8 本文全体の要旨を、「数字」と「条件」を使い、四十字以上六十字以内で書きなさい。

[illegible]

B 記録を次の一歩へ

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 記録は、起きたことを忘れないためのものだと思われがちである。しかし、書き残す内容を少し変えると、記録は次の行動を考える手がかりにもなる。
- ② 例えば、植物の観察で「葉がしおれた」とだけ書いても、あとから状況を思い浮かべにくい。「水やりをした翌日の夕方、日当たりのよい窓辺で、葉がしおれた」と書けば、いつ、どのような場所で起きたかが分かる。出来事を条件とともに残すことが、あとで考える土台になる。
- ③ ただし、「日差しが強すぎたのかもしれない」という考えまで、観察した事実と同じように書くのは注意が必要だ。それは原因についての予想であり、確かめられた事実ではない。事実と予想を混ぜると、まだ確かでない理由を、確かめたことだと思い込むおそれがある。
- ④ また、記録を並べてみると、調べていなかった点に気付くこともある。晴れた日の記録ばかりなら、曇りの日にも同じことが起きるのかという問いが生まれる。書いてあることだけでなく、書かれていないことにも目を向けると、次に観察する内容が見えてくる。
- ⑤ 記録を役立てるには、事実と考えを分け、まだ分からない点を見つけることが大切である。過去を残すだけでなく、次に確かめることを示す記録を目指したい。

問1 ①段落では、記録の二つの働きが対比されています。空欄に合う言葉を本文中から抜き出してください。

起きたことを (a) ためのもの
→ 次の行動を考える (b) にもなる

(a)

(b)

B 記録を次の一步へ

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題3ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落の二つ目の記録例には、一つ目がないどのような情報がありますか。最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 出来事が起きた時と、場所の様子。

イ 植物の名前と、育てた人の年齢。

ウ 葉がしおれた原因を確かめた結果。

エ 翌日に植物がどうなったかという結果。

問3 ③段落で、確かめられた事実ではなく「予想」に当たる表現を一つ選びなさい。

ア 葉がしおれた。

イ水やりをした。

ウ 植物を日当たりのよい窓辺に置いた。

エ 日差しが強すぎたのかもしれない。

問4 ②段落の「出来事を条件とともに残すこと」は、④段落で次に調べる内容を見つけるうえで、どのように役立ちますか。三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問5 事実と予想を分けて記録する必要があるのはなぜですか。二十五字以上四十字以内で書きなさい。

[illegible]

B 記録を次の一步へ

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題3ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ②～④段落と⑤段落の関係として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア ⑤は②～④をすべて否定する。

イ ⑤は別の植物の例を示す。

ウ ⑤は②～④を踏まえ考えをまとめる。

エ ⑤は出来事を時間順に並べる。

問7 本文全体の要旨を、「事実」と「次に」を使い、四十字以上六十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

問8 植物の葉のしおれ方について、晴れた日の記録だけがあります。④段落の考えを生かし、次に観察する内容と確かめたいことを、三十字以上五十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

C 便利さと選び直す力

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① これまでの好みに合うものを自動で勧める仕組みがある。こうした仕組みを生かすには、任せる部分と自分で確かめる部分を考え、選び直せる余地を残すことが大切だ。
- ② たくさんの選択肢から一つを選ぶには、時間も手間もかかる。例えば、以前に読んだ本をもとに次に読む本を勧めてもらえば、好きな分野の本を短時間で探せる。しかし、勧められた本だけを見ていると、それまで関心をもたなかった分野に出会う機会は少なくなるかもしれない。
- ③ 選びやすいことと、知る範囲が広がることは、いつも同時に実現するわけではない。過去の好みに合う提案は、今の自分には心地よい。一方で、自分の好み自体が変わるきっかけを見逃す可能性もある。
- ④ だからといって、自動の提案をすべてやめればよいわけではない。短時間で必要な本を探す場面と、知らない分野をゆっくり探す場面とでは、求めるものが異なる。どの場面でも同じ選び方が最善だとは言えないのである。
- ⑤ 必要なのは、目的に応じて選び方を変えることだ。急いで必要な情報を集めたいときには、提案を手がかりにするとよい。一方、時間をかけて興味の幅を広げたいときには、提案の外にも目を向ける方法が考えられる。
- ⑥ 例えば、いつも物語を読む人が、提案されていない棚で地図の本を開き、町の成り立ちに興味をもつこともある。それまで「自分に合う」と思わなかった本が、次に読む本を選ぶ新しい手がかりになるのである。

問1 ②段落で、筆者が認めている自動の提案の利点を一つ選びなさい。

- ア 知らなかった分野の面白さを見つけやすくする。
- イ 好みに合う本を探す時間や手間を減らす。
- ウ 自分の好みが変わった理由を確かめやすくする。
- エ 本を選ぶ目的の違いを整理しやすくする。

C 便利さと選び直す力

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題6ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落の具体例で対比される内容として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 好きな本を探せることと、本を読む時間が短くなること。
イ 過去の好みを知ることと、今の好みを記録すること。
ウ 未知の分野に出会えることと、本を選ぶ手間が増えること。
エ 探す時間を短くできることと、出会う分野が偏る可能性。

問3 ③段落の「自分の好み自体が変わるきっかけ」に当たるものを、②段落から一続きで抜き出してください。(21字)

																		20
21																		

問4 ④段落の役割として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 提案の利用を一律にやめる考えに注意を促し、目的による使い分けへつなぐ。
イ 提案を使う場面を例に挙げ、知らない分野に出会いにくい理由を補う。
ウ 二つの選び方の結果を比べ、時間をかけて探すほうが効果的だと説明する。
エ 提案が好みに合う理由を示し、使う前に好みを確かめる方法へつなぐ。

問5 筆者が、自動の提案をすべてやめればよいわけではないと考えるのはなぜですか。「場面」を使い、三十字以上五十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

C 便利さと選び直す力

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題6ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

- 問6** 本文の内容に合うものを一つ選びなさい。
- ア 提案する仕組みは、利用者の好みを変えることを主な目的としている。

イ 新しい分野を知りたいときも、過去の好みをもとに候補を絞ることが重要だ。

ウ 提案の外で出会った本が、何を自分に合うと考えるかを変えることがある。

エ 選ぶ時間を短くできれば、仕組みに任せる範囲も自然に決まる。

問7 本文全体の要旨を、「目的」と「自分」を使い、四十五字以上六十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

20
40
60

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

65

問8 これまでよく見た分野の動画を勧めるサービスで、自由研究の題材となる新しい分野を探します。時間には余裕があります。本文の考えに沿って、行動とその理由を、五十字以上七十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

20
40
60

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

70

D 問いをそろえる話し合い

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 話し合いで意見が合わない、早く多数決で決めたいことがある。しかし、決め方を選ぶ前に確かめたいことがある。それぞれの意見は、同じ問題に向けられているだろうか。
- ② 例えば、昼休みの図書室をもっと使いやすくしようと話し合う場面を考える。一人は、本を借りる人の列が長いことに困っている。別の一人は、座る場所が少ないことに困っている。二人とも「使いにくい」と言うが、注目している問題は異なる。
- ③ そのまま案を出すと、「本を借りる順番を決めよう」と「いすを増やそう」という意見が並ぶ。これをすぐに競わせても、どちらがよいかは決めにくい。一方は貸出の混雑、もう一方は座席の不足を解決しようとしているからだ。
- ④ まず、何に困っているのかを出し合い、どの問題を先に考えるのかを確かめる必要がある。「本を借りるまでの待ち時間を短くするにはどうすればよいか」と問いをそろえれば、順番の決め方や貸出の手順について、案を比べやすくなる。
- ⑤ ただし、問いをそろえることは、全員に同じ意見を求めることではない。同じ課題についても、使える時間や予算をどう考えるかによって、異なる案が出る。共通の問いがあるからこそ、それぞれの案の長所や課題を比べる意味が生まれる。
- ⑥ 話し合いを進めるには、すぐに結論を出そうとするだけでなく、互いの意見がどの問題に向けられているのかを確かめたい。共通の問いを土台にすれば、意見の違いを、よりよい解決方法を考える手がかりにできるのである。

問1〔10点〕①段落の「確かめたいこと」は何ですか。本文中の一文を、そのまま抜き出さない。 (26字)

[illegible]

D 問いをそろえる話し合い

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題9ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問2〔10点〕 ②段落で、二人がそれぞれ困っていることの組み合わせとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 本の種類が少ないこと／図書室が遠いこと。
- イ 本を借りられないこと／いすが壊れていること。
- ウ 本を借りる列が長いこと／座る場所が少ないこと。
- エ 昼休みが短いこと／読む時間が長すぎることに。

問3〔10点〕 ⑤段落の「ただし」の働きとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 前の説明について、誤解を防ぐ注意を加える。
- イ 前の説明と同じ例を、別の言葉で繰り返す。
- ウ 前の説明の出来事より、昔の出来事を示す。
- エ 前の説明の結論を、理由を変えずに強める。

問4〔10点〕 本文の構成として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア ①・② 結論 → ③・④ 別の結論 → ⑤・⑥ 具体例。
- イ ① 出来事の始まり → ②～⑤ 時間順の経過 → ⑥ 結末。
- ウ ①・② 問い → ③～⑤ 問いへの反対 → ⑥ 例の追加。
- エ ① 問い → ②・③ 例と問題点 → ④・⑤ 方法と注意 → ⑥ まとめ。

問5〔10点〕 ⑤段落で、問いをそろえることとは異なると述べられていることを、本文中から一続きで抜き出しなさい。（13字）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

13

D 問いをそろえる話し合い

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題9ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問6〔15点〕③段落で、二つの案をすぐに競わせても決めにくいのはなぜですか。両方の案が解決しようとする問題を示し、三十五字以上五十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問7〔15点〕 「問いをそろえること」と「全員に同じ意見を求めること」は、どう違いますか。三十五字以上五十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問8〔20点〕 本文全体の要旨を、「共通」と「違い」を使い、五十字以上七十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]